

「第 17 回アジア社会科学研究協議会連盟(AASSREC)隔年総会」概要

- 1 会議名 英語: The 17th Biennial General Conference of the Association of Asian Social Science Research Councils (AASSREC)
- 2 開催時期 平成 19 年 9 月 27 日(木) ~ 9 月 30 日(日) (4 日間)
- 3 開催場所 名古屋市 / 名古屋大学 東山地区キャンパス
- 4 主催 日本学術会議、日本環境共生学会
メイン・シンポジウム - 日本学術会議、日本環境共生学会、名古屋大学
- 5 参加数(見込) 13 カ国 +
正会員(13 カ国): オーストラリア、バングラデシュ、中国、インド、
インドネシア、イラン、日本、マレーシア、韓国、フィリピン、
スリランカ、タイ、ベトナム
オブザーバー: カンボジア、ラオス、パキスタン、台湾
- 6 参加者(見込) 国外 60 人 (外同伴者 10 人)
国内 240 人 (外同伴者 0 人)
計 300 人 (外同伴者 10 人)
- 7 会議の目的 アジア諸国における社会科学研究の相互交流の促進
- 8 会議テーマ等
統一テーマ
➤ 「アジアにおける経済発展と環境問題 : 社会科学からの展望」
➤ “Economic Development and Environmental Issues in Asia: Perspectives from Social Sciences”

カントリー・ペーパー(CP)
➤ 「各国の環境問題と社会科学的な取り組みの現在」
➤ “Environmental Problems and Social Scientist s Approach in Respective Countries”

テクニカル・セッション(TS)
➤ 「グローバル化時代の社会科学と環境問題」
➤ “Environmental Problems and Social Science in Globalized World”
社会学 / 地理学: 「グローバル化と社会環境」 例: 都市・移動
“Globalization and Social Environment”
経済学 / 経営学: 「モノづくりと環境問題」 例: 廃棄物問題
“Manufacturing and Environmental Problems”

メイン・シンポジウム【同時通訳付】

- 「社会制度としての環境：社会科学からのアプローチ」
- “Environment as a Social System: An Approach to Environmental Problems from Social Sciences”

スペシャルセッション【同時通訳付】

- 「防災研究の現在」
- “The Present State of Disaster Prevention Studies”

スペシャルセッション【同時通訳付】

- 「環境とヒューマン・ディベロップメント」
- “Environment and Human Development”

特別講演【同時通訳付】

産業技術総合研究所理事長

吉川 弘之

元日本学術会議会長、日本学術会議連携会員、元国際学術会議 (ICSU) 会長

- | | |
|---------|---|
| 9 プログラム | 別紙参照 |
| 10 参加費 | 無料 |
| 11 使用言語 | 英語 ・一部同時通訳あり(メイン・シンポジウム等) |
| 12 共催団体 | アジア政経学会、日本教育学会、日本計画行政学会、日本経済学会、
日本社会学会、日本政治学会、日本地域学会、日本法社会学会、 |
| 13 協賛団体 | 環日本海学会、経済地理学会、社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会、
社団法人日本経営工学会、人文地理学会、
特定非営利活動法人横断型基幹科学技術研究団体連合、東南アジア学会、
日本オセアニア学会、日本セキュリティ・マネジメント学会、日本環境社会学会、
日本経営システム学会、日本公共政策学会、日本社会学理論学会、
日本情報経営学会、日本地理学会、日本南アジア学会 |

【担当】

日本学術会議事務局 参事官(国際業務担当)付国際調査担当

熊谷・丸山・佐藤

〒106-8555東京都港区六本木7-22-34

TEL.03-3403-1949 FAX 03-3403-1755 E-mail i266@scj.go.jp

AASSREC2007名古屋大会組織委員会

組織委員長 伊藤 達雄

日本環境共生学会 本部事務局

〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭一丁目10番1号 地球環境GISセンター1階

TEL. 052-627-0300 FAX 052-682-0307 E-mail jahes@kankyosoken.or.jp

第 17 回アジア社会科学研究協議会連盟 (AASSREC) 総会 プログラム

9 月 27 日 (木)

■ビジネス・ミーティング

11:00-13:00

【場所:文系総合館・705 会議室】

■レジストレーション

12:00-18:00

【場所:文系総合館1階】

■開会式

【場所:経済カンファレンスホール】

14:00-14:05 組織委員会委員長挨拶

14:05-14:20 AASSREC 会長挨拶

■スペシャル・セッション 「防災研究の現在」(同時通訳付) 【場所:経済カンファレンスホール】

14:20-14:30 趣旨説明

14:30-15:10

報告 1: 海津 正倫: 津波災害に関わる土地条件の地域特性 インドネシアバンダアチェの事例

報告 2: 高橋 誠: バンダアチェにおける津波被害と復興過程の重要問題 名古屋大学の調査
団による知見

15:10-15:50

報告 3: 西村大司: 中部地方の港湾周辺における災害の影響と対策の取り組み

報告 4: 宮本 卓次郎: 港湾の防災について 産業防災の取り組み

(Coffee Break)

16:10-16:30 ジョン・ビートン氏からの「防災」にかんする提案

16:30-17:00 パネル討論

■ウェルカム・パーティー

17:30-19:30

【場所:フレンドリー南部】

9月28日(金)

■カントリー・ペーパー(CP) 報告セッション「各国の環境問題と社会科学的な取り組みの現在」

【場所:環境総合館レクチャーホール】

09:00-09:05 開会挨拶

09:05-10:05 オーストラリア・バングラデシュ・中国

10:05-10:25 質疑

(Coffee Break)

10:40-12:00 インド・インドネシア・イラン・マレーシア

12:00-12:30 質疑

12:30-13:30 昼食

13:30-14:30 フィリピン・韓国・スリランカ

14:30-14:50 質疑

(Coffee Break)

15:05-16:05 タイ・ベトナム・日本

16:05-16:25 質疑

(Coffee Break)

■オブザーバー報告セッション

【場所:環境総合館レクチャーホール】

16:40-18:00 カンボジア・ラオス・パキスタン・台湾

■夕食

18:30-20:30

【場所:名大レストラン・花ノ木】

9月29日(土)

■テクニカル・セッション「グローバル化時代の環境問題と社会科学」

テクニカル・セッション 「グローバル化と社会環境」 【場所:IB館014室】

- 09:00-09:05 趣旨説明
09:05-09:35 報告1:中川聡史:タイをめぐる近年の国際人口移動
09:35-10:05 報告2:金科哲:「開発と環境」の二分法的論争の虚構 - 韓国セマングム干拓事業をめぐる環境問題論争を事例に -
(Coffee Break)
10:20-10:50 報告3:長谷川公一:「気候の危機」とローカル環境ガバナンス
10:50-11:20 報告4:寺田良一:リスク社会における情動的環境民主主義に向けて:日本における汚染物質排出移動登録(PRTR)の制度化の環境政策への影響
11:20-11:50 討論・総括

テクニカル・セッション :モノづくりと環境 【場所:IB館015室】

- 09:00-09:05 趣旨説明
09:05-09:30 報告1:増井忠幸:ロジスティクスにおける企業と消費者の協調による環境負荷低減
09:30-09:55 報告2:小松青磁:環境ソリューションに対するグローバルアプローチ
09:55-10:20 報告3:大林史明:ビル・システムの省エネルギーと次世代環境制御への取り組み
(Coffee Break)
10:35-11:00 報告4:中島健一:閉ループサプライチェーンマネジメント - 理論と実践
11:00-11:25 報告5:涌田幸宏:日本の伝統とモノづくり
11:25-11:50 討論・総括

合同テクニカル・セッション 【場所:IB館015室】

- 12:00-12:30 講演:ダリル・メイサー

12:30-13:30 昼食

■メイン・シンポジウム「社会制度としての環境:社会科学からのアプローチ」(同時通訳付)

【場所:IB館大講義室】

13:30-13:40 開会挨拶(日本学術会議副会長、名古屋大学総長)

13:40-13:45 内閣総理大臣メッセージ

13:45-14:15 愛知県知事挨拶及び愛知県特別報告

14:15-14:55 **基調講演1:自然環境と社会的共通資本**

宇沢 弘文

14:55-15:35 **基調講演2:環境限界に直面して - コモンズからの教訓**

マーガレット・A・マッキー

(Coffee Break)

15:50-16:05 コメント: 糊澤 能生

16:05-16:20 フロア質疑

16:20-17:00 **基調講演3:環境問題と日本の役割 - アジアへのパースペクティブ**

淡路 剛久

17:00-17:10 コメント: 寺西 俊一

17:10-17:25 フロア質疑

17:25-17:30 総括: 戒能通厚

■レセプション

18:00-20:00

【場所:名大ユニバーサルクラブ】

9月30日(日)

■スペシャル・セッション 「環境とヒューマン・ディベロップメント」(同時通訳付)

【場所:IB館大講義室】

09:00-09:05 趣旨説明

09:05-09:30 報告1 氷見山幸夫・山形与志樹:日本におけるIHDPに関する活動

09:30-09:55 報告2 氷鮑揚四郎:物質収支に依拠した環境総合評価と国際汚染排出権取引の重要性

09:55-10:40 講演:オラン R.ヤング:IHDPの第2フェーズに向けての戦略的計画

10:40-11:00 討論/総括

(Coffee Break)

■スペシャル・セッション (同時通訳付)

【場所:IB館大講義室】

11:20-11:25 開会挨拶

11:25-12:10 特別講演:社会の中の科学者
吉川弘之日本学術会議元会長

■閉会式

【場所:IB館大講義室】

12:10-12:30 閉会挨拶(戒能通厚(旧)AASSREC会長・Chobvit Lubpairee 新 AASSREC 会長)

■フェアウエル・パーティー

12:45-14:00

【場所:IB館カフェ】

■ビジネス・ミーティング

13:00-14:30

【場所:IB館012室】

■招待者市内見学(バス)

14:35-19:00

19:30 ホテルに帰り、全日程終了。